

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型重症児デイ きらめキッズ南蔵王		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性等に応じ専門性のある支援が行えている。	児童一人に専門性のある職員(看護師、保育士、理学療法士、児童指導員等)数名で関り、支援プログラムを作成し関わっている。学校やリハビリ施設への見学を積極的に取り入れたり、研修の参加を促し質の向上を図っている。	ミーティングや施設内研修などでそれぞれの分野での関わり方を共有していく。研修への積極的な参加を促す。
2	固定化された活動プログラムではなくこどもの特性や発達段階を考慮し、個別に合わせた療育を行っている。	こどもの発達段階や特性を考慮し一人一人に合わせた療育活動を提供している。保護者との面談を行い要望を聞きながら支援に取り入れている。SNSや研修参加、他施設への見学等から情報を取り入れ視野を広げている。	研修、ミーティングの機会を増やし視野をさらに深めていく。
3	こどもの状態を保護者と共有し、支援に活かしている。	連絡帳でその日の様子を伝え、送迎時も自宅や事業所での様子を連携している。定期的に面談を行い要望や支援内容について共有している。	保護者および職員間の連携をさらに深めていき、支援の充実を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域のこどもと交流する機会が少ない。	放課後は時間があまりなく、長期休みは未就学児も一緒にいるため難しい。	イベント開催を増やし交流の機会をつくっていく。
2	保護者会、家族支援プログラムの機会が少ない。	コロナが5類感染症に移行したため、今年度は保護者会を企画したが、個々に希望日が異なり参加者が少なく開催に至らなかった。	宇ほりや音楽鑑賞、マジックショーなどのイベントは人気がある為イベントを増やして交流の場を増やしたり、保護者面談や参観を適宜取り入れる。
3	災害時の訓練などを行っているが保護者に周知できていない	訓練の実施や様子を保護者に連絡できていない。毎日の通所ではないため通所日に訓練がない児童もいる。	計画をたて、利用予定表に記入していく。SNSなど利用し訓練の様子も発信する。連絡帳に記入したり、保護者に伝えていく。